



劇団もれる
いったりきたり

くりかえして そうなる？

男、ニヤニヤしながら登場。

女後ろについてくる。

2人、だるまさんが転んだをはじめ。

男「だるまさんがころんだ」

女、止まる

男「だるまさんがころんだ」

女、止まる

男「かわいそうな象、象はとても可哀想で……」

女「うえっ、へーん」

男「動いた」

女「だって、象、可哀想」

男「洗濯、よろしく」

女「はっ、もう一回！」

男「だるまさんがころんだ」

女、自分の耳に手を当て止まる

男、地面を思い切り蹴る

女、連動して飛び跳ねる

男「動いた、お風呂沸かして！」

女「ちょっと待って。本気出す。……ご先祖様、私に力を」

女、丸まって地を這いつくばるように移動する。止まる。

男、ちょっと考えるが諦める。

男「だるまさんがころんだ」

女、止まる

男「あのさ、、、結婚しよう」

女、動かないと思いきや、ピクっとなる

男「動いた」

女「動くよ！そりゃあ動くよ！なんなんだよお！こんなの私の知っているだるまさんが転んだじゃない！卑怯！ひねくれ！いじわる！そして何さ！あ、あの、、、ほ、ほら、さ、あの、、、結婚？しよう？的な？」

男「結婚しよう」

女「え、待って、私たち、もうそんな歳？」

男「うん、27」

女「あらやだ、いやだわ！全然気が付かなかった！あんたがいつまでもこんな遊びばかりするから、全然気づかなかった！あらやだ！」

男「考えてくれる？」

女「うーん、あなたと住むのね。ちょっとご先祖様と相談が必要だわ。その間に次の勝負いくよ。私が…!」

男「俺が勝ったら餃子作って！皮から」

女「え、めんどーい。じゃあ私が勝ったらちゃんこ鍋ちゃんと作って！」

男「え、めんどーい」

女「だるまさんがー.....」

夫婦になる

男「ただいまー」

女「おかえりなさい、あなたごはんにする？お風呂にする？それとも、、、我？」

男「.....言い方.....」

女「私なりの恥じらいです。」

女「ねえ、これから何をする？」

男「とりあえず荷物を整理したり、家具を揃えたり」

女「あれ？どっちが私の歯ブラシだっけ」

男「固い方！」

男「この服何！？どうやって畳むのが正解？」

女「便座は下げといてよ！てか座ってしてよ！」

男「洗濯物たまるのはっや！」

女「ちょっと！パンツくらい履いてよ！」

男「なんだこの健康的な食卓は！」

女「玉ねぎ安くて買いすぎちゃったからしばらく玉ねぎ料理ね！」

男「ねえ、俺のパンツ知らない？」

女「あ、ごめん、涼しくて.....つい.....」

男「ええ.....」

女「わ！ゴキブリ！あなた！説得して！」

男「(ちょっと説得しようとする)...って仲間じゃねーよ！」

女「そうなん？」

女「ほら！ちゃんと歯を磨いてから寝て！！とか言ってみたりー」

男「仕事と私、どっちが大事なの？とか言われてしまったりー」

女「実家に帰らせていただきます！とか言ってみたりー」

男「人生最大の誤り！他の女に手を出して、妻が本当に実家に帰っちゃったり！ああ、ごめんなさい！」

女「お腹が動いた！」

男「息子の反抗期と下っ腹の反抗期が同時に！」

女「最近歩くだけで息切れしちやったりー」

男「なにか、で、悩んでももう、気軽に相談できる友達がいないことに、気づいたりー」

女「年取っちゃったんだねー」

男「なあ？少しはダンディーに、なれたかな？」

女「...」

男「答えてよ！」

女「ふ(鼻で笑う)」

男「やり直しがきかない中で、びびったりしなかった？後悔とか.....」

女「何度だってやりなおしてきたじゃん」

男「あ！そっか！」

チーンと鳴り、男が倒れる

男「やっぱり俺が先に死ぬのかー」

女「あらまあ、先を越されてしまいましたね。」

男、大袈裟にあくびをする。

男「ねえ？」

女「ん？」

男「耳かきして？」

女「やだ、めんどい」

男「えー」

女、男の耳の中を覗き込む。

女「真っ暗、お先真っ暗！」

男「お、お先が真っ暗だとしても、どーにかなるよね？」

女「どーにかするしかないでしょ」

男「た、頼もしい！」

女「ほら、もうおやすみ(男のまぶたを閉じる)」

男「おやすみ」

男「ただいま」

女「ん、今日こっちも遅かったからご飯あるもの食べて、汗かいたからお風呂入っちゃったよー」

男「時の流れ！うん、オツケー、これもいいな～」

戻る

女「なんだかいつもとあんまり変わらなそう」

男「ははは、まあ、ゆっくり考えてみてよ」

男、退場しようとする。

女「だるまさんがころんだ！」

男、止まる

女「ねえ！よろしくおねがいします」

男「え（すごい喜ぶ）」

女「ごっつあんです！どすこい、動いたね」

暗転

おしまい



